

選ばれるまち

阿賀野市



令和6年度  
当初予算のポイント

# 一般会計予算の概要

令和6年度当初予算編成方針と予算規模

# 当初予算編成方針

阿賀野市総合計画に掲げる3つの重点施策「人口減少対策」「デジタル化の推進」「防災・減災対策」に、「地域経済の活性化」「脱炭素社会の推進」を加えた5つの柱に財源を集中配分しました。特に「人口減少対策」を最優先課題として位置付け、未来への投資となる**子ども・子育て支援に特化**しました。

01 人口減少対策

04 地域経済の活性化

02 デジタル化の推進

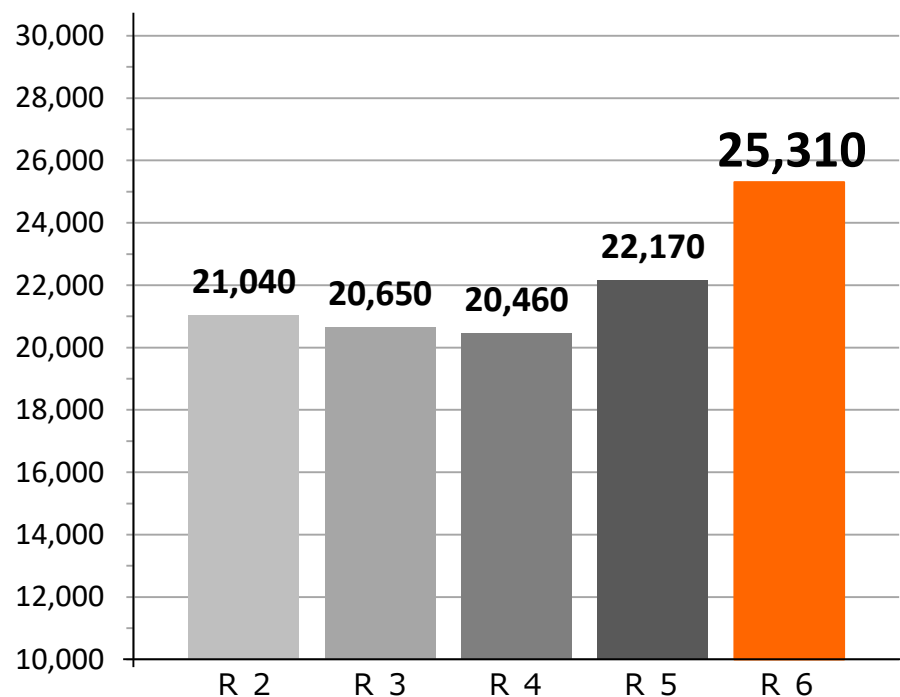
05 脱炭素社会の推進

03 防災・減災対策

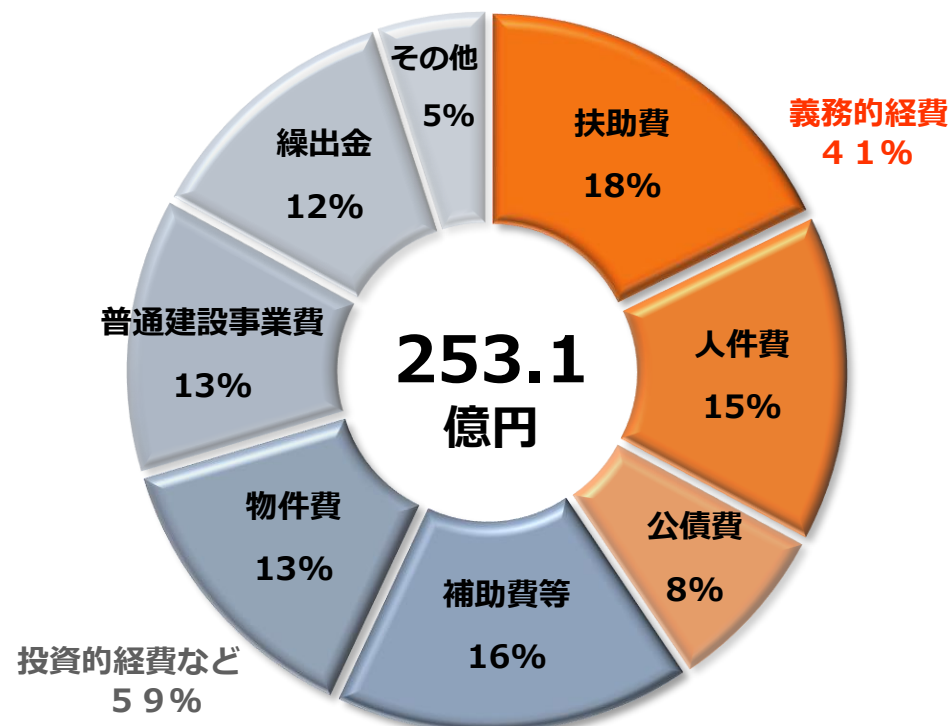
# 一般会計当初予算の規模

**253億1千万円**  
(対前年度比31億4千万円、14.2%増)

予算規模の推移 (百万円)



主な歳出内容 (割合)



# 主要な歳入の状況

---

前年度比較増減でみる特徴的な変更内容

# 1 主要な歳入の状況

## 1 市税 4,769,523千円

前年度比較増減 ▲32,873千円 (▲0.7%)

### 固定資産税

+3,400万円 (新築家屋や償却資産の評価額増加)

### 個人市民税

▲7,800万円 (国の定額減税に伴う減収)

### まとめ

固定資産税は前年度比で増額としましたが、個人市民税では、定額減税に伴う減収を見込むことで市税全体で減額となります。

## 2 地方特例交付金 118,000千円

前年度比較増減 +78,000千円 (+195%)

従来の住宅ローン減税に伴う個人市民税の減収補填に加えて、定額減税に伴う個人市民税の減収補填を見込みます。

## 3 国庫支出金 3,245,711千円

前年度比較増減 +470,070千円 (+16.9%)

### 学校施設環境改善交付金

1億5,700万円 (京ヶ瀬小学校の長寿命化等改修工事)

### 二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金

1億5,400万円 (笹神体育館の省エネ・創エネ化工事)

## 4 寄附金 729,603千円

前年度比較増減 +207,900千円 (+39.9%)

### ふるさと寄附金

6億6,000万円 (配送料等の見直しに伴う寄附金増加)

## 5 繰入金 1,307,263千円

前年度比較増減 +81,333千円 (+6.6%)

### ふるさと阿賀野市応援基金繰入金

3億1,400万円 (子育て支援事業の拡充に伴う財源)

### 公共施設等整備基金繰入金

3億7,000万円 (公共施設再編等の実施に伴う財源)

### ごみ処理施設整備基金繰入金

2億9,000万円 (広域ごみ処理施設整備事業に伴う財源)

## 6 市債 4,114,600千円

前年度比較増減 +2,313,600千円 (+128.5%)

### 合併特例事業債

25億2,060万円 (広域ごみ処理施設整備事業に伴う借入)

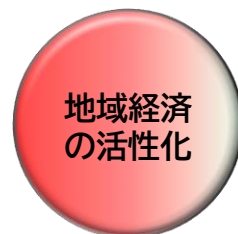
5億2,290万円 (学校給食センター整備事業に伴う借入)

### 過疎対策事業債

3億3,000万円 (太陽光発電設備等導入事業に伴う借入)

# 重点施策に基づく事業

## 5つの柱の重点施策の主な事業内容



# 1 人口減少対策

## 子育て世帯への支援

### 2歳までの第2子以降の保育料無償化

【予算額】 歳入減額含む影響額  
38,418千円



これまで

要件	第2子	第3子以降
収入 約360万円 以下	無償 (国基準)	無償 (国基準)
500万円 以下	無償 (市独自)	無償 (市独自)
500万円 超え	負担あり	負担あり

令和6年度～

第2子	第3子以降
無償 (国基準)	無償 (国基準)
無償 (市独自)	無償 (市独自)
無償 (市独自)	無償 (市独自)

年収640万円の世帯で、  
小学1年生、2歳児、0歳児のお子さん  
がいる場合

年間で  
656,400円の  
負担軽減

年収にかかわらず  
第2子以降の保育料の負担なし



# 1 人口減少対策

## 子育て世帯への支援

### 子どもの医療費を全額助成

【予算額】 助成による影響額  
34,013千円



	これまで	令和6年度～
入院	全額助成	全額助成
通院	一部自己負担 530円/回 <small>※同一医療機関(診療科)に通院する場合、5回目以降自己負担なし</small>	全額助成

高校卒業まで医療費の自己負担なし  
必要な医療をより安心して受けられる

# 1 人口減少対策

## 学校教育への支援

### 小中学校の給食費を3分の1補助

【予算額】  
57,355千円



	これまで
	一人あたりの給食費
小学生	約 58,200円/年
中学生	約 64,600円/年

令和6年度～

一人あたりの給食費

約  
40,740円/年

約  
47,500円/年

中学生と小学生の  
2人きょうだいの場合、  
年間約34,000円の  
負担軽減

※給食費の年間徴収額は一例で、給食回数によって異なります。

### 学習支援教員、スクール・サポート・スタッフ増員

【予算額】  
33,598千円

児童生徒へのきめ細かな指導

×

教員の負担軽減

## 2 デジタル化の推進

### 行政事務の効率化、暮らしの利便性向上

#### 議会にタブレット端末とペーパーレス会議システム導入

【予算額】  
3, 815千円

印刷資料削減

+

議会運営効率化

#### AIオンデマンドバス導入

【予算額】  
106, 361千円

これまで

運行方法
江端線
寺社線
大室線
駒林線
前山線
安田地域循環線
折居大日線
神山線
千唐仁線
分田線
五頭温泉郷線

運行方法

定時定路線

令和6年度～

運行方法

AIオンデマンド  
(区域運行)10/1～

定時定路線

#### AIオンデマンドバスとは

予約に応じてAIが最適な経路を導き出して、指定の停留所まで送迎します。

他の利用者から予約が入ると、次の利用者が待つ停留所へ自動的に経路を変えながら運行します。

スマートフォン・モバイル端末や電話で予約できます。

# 3 防災・減災対策

## 自然災害等に対する防災・減災

### 学校の長寿命化等改修を実施

【予算額】  
1,392,656千円

京ヶ瀬小学校



建築：1984年（S59年）築40年  
児童数：346人（R5.4）

- ・躯体強度維持補修
- ・全体的な改修による環境改善

※併せて  
京ヶ瀬地区学校給食センターを整備

# 4 地域経済の回復・活性化

## 事業者、就農者への支援

### 有機農業産地づくりの推進

【予算額】

8,000千円



#### ・有機農業の生産から消費まで一貫した取組みを支援

生産	【品目】有機米、有機大豆、有機トマト ・検討会の開催 ・グリーンな栽培体系の検証 （生産技術の検証、ペレット堆肥の散布 など） ・新規生産者向け技術研修、勉強会の開催 など
加工・流通	・道の駅 加工品試作、メニュー・商品開発
消費	・有機米 学校給食へ導入(笹神地区) ・温室効果ガス削減見える化実証

ほか 新規就農者等確保事業(予算額8,700千円)、地域おこし協力隊活用(7,749千円)

# 5 脱炭素社会の推進

## 省エネ・創エネの推進

### 公共施設に太陽光発電設備等導入

【予算額】  
485,000千円

#### 笹神体育館



建築：2003年（H15年）築21年  
年間利用者数：57,854人（R4年度）  
笹神地区基幹避難所

創エネ

太陽光パネル、蓄電池

省エネ

照明LED化、天井断熱化、  
空調設備更新

再生可能エネルギー導入  
+消費電力削減

CO<sub>2</sub>削減

同時  
実現

災害による停電時でも  
照明・空調など使用可能

避難所機能強化

ほか 京ヶ瀬屋内運動場大規模改修(予算額130,000千円)で照明LED化による省エネ推進⇒CO<sub>2</sub>削減

# その他の新たな取り組み

## がん患者医療用補整具購入費助成事業

【予算額】  
1,000千円

## 新生児聴覚検査費助成(産後健診助成事業)

【予算額】  
1,200千円

## 有機農業ステップアップ事業

【予算額】  
2,040千円

## 除雪管理システム導入事業

【予算額】  
11,572千円

## 窓口キャッシュレス決済導入事業

【予算額】  
396千円

## 財務会計システム電子決裁・電子請求の導入 (電算システム運用管理事業)

【予算額】  
10,021千円

## 未来設計サポート事業

【予算額】  
583千円

# 子育て環境日本一のまちづくり

---

を実現します